

冬に活躍!

「除雪機」を導入しました

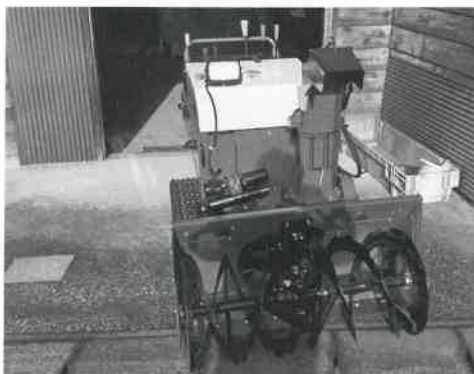
一般コミュニティ助成事業

梶原自治会と上中高自治会、上高田自治会で除雪機が導入されました。これらは宝くじの社会貢献広報事業の 일환として、財団法人自治総合センターが行う「一般コミュニティ助成事業」を活用し、購入したものです。

3自治会ともに、12月までに無事に納品され、冬の準備ができました。「みんなで協力して実施しよう」など除雪に向けた出動態勢を整えていらつしやいます。



梶原自治会



上中高自治会



上高田自治会

ぺったん!

おもちつき

中山みどりの森保育園で12月14日にもちつきが行われました。子どもたちは、地域や保護者、祖父母で組織する「もりっこ隊」の協力で毎年、田植えから収穫までを体験しています。

自分たちのもち米とあって、子どもたちも楽しみにしている行事です。もちつき当日も、もりっこ隊のみなさんと一緒に杵をついたり、つきあがったもちを丸めたりしました。

また、年長児は、しめ縄作りにも挑戦。ユズリハやゆずも一緒に結びつけ、1時間ほどでしめ縄を作りあげました。子どもたちは「楽しかった。家に飾りたい」とうれしそうでした。



よいしょ!

危険箇所はどこに?

御来屋まち探検を行いました

「御来屋まち探検」が、12月4日に地域自主組織支え合いのまち御来屋主催で行われました。

毎年、鳥取大学との連携により御来屋地区の防災訓練を実施していましたが、今年は趣向を変えて、地区内の危険箇所や魅力的な場所を発見して回る「まち探検」を実施しました。当日は、御来屋地区から約30名、鳥取大学から教員2名・学生8名の参加がありました。

まず鳥取大学の学生から、消火栓や消防ホースの位置、ブロック塀や狭い道路など注意して確認する所や危険個所の発見方法について説明を受け、4班に分かれてまち探検に出掛けました。それぞれの

班が約1時間かけて御来屋地区内を歩いて回りました。

その後、大きな地図に探検の結果を書き込んで発表を行い、参加者全員で危険個所の情報共有を行いました。多く



の危険箇所と魅力的な場所を発見した班があったり、小学生と保育園児が発見した班もあったりと活発な意見交換が行われました。

今後は、1月に事前復興ワークショップ、2月に報告会を行う予定にしています。

※事前復興とは

大規模な災害が発生した際のことを想定して、あらかじめ災害後の復興について考えたまちづくりを行うこと。